

令和5年度採用職員 事務職

福祉・子ども部 生活福祉課

○大東市を志望した理由

生まれも育ちも大東市ではありませんが、住道駅のストリートピアノを弾いたことがご縁の始まりでした。

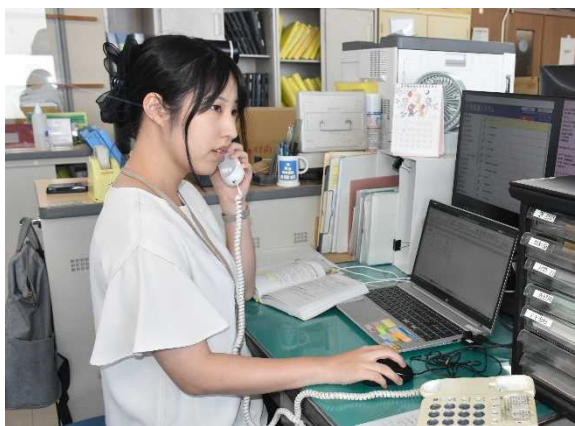
そこでの楽しいひと時から大東市の市政に興味を持ち、その一助を担いたい思いから大東市を志望しました。



○実際に働いてみた感想

生活福祉課に配属になり、生活保護のケースワーカーとして働いています。

市役所の業務は市民の生活を支えるものですが、その中でも生活福祉課の業務は、「最後のセーフティネット」とも呼ばれています。



支援を必要とする方の生活を自分の目で見て、自立に向けた適正な支援が求められる生活福祉課の業務は、生活に直結するものです。そういった日々の業務を通して、支援を必要とする方の生活を守っていると実感しています。

職場は、上司や先輩に相談しやすく風通しのよい環境です。難局に立ち向かう時は自然にチームワークが生まれる。これが生活福祉課の素敵なおところだと感じています。

○受験生の皆さんへ

こちらをご覧いただいている方の中には、大東市とのご縁が浅く志望動機の伝え方に悩んでいる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。かつては私もその一人でした。

ご縁のきっかけは些細なことでも、これから大東市の好きなところをたくさん見つけてください。そして市政に興味を持ち、自分が市民の皆様のために還元できる「得意」を伝えてください。一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

